

私のひとこと



今年、サラエボ・ロス五輪と、スポーツ界にとつては大変話題の豊富な、期待の大きい年になると思います。

常勝・山下の柔道あり、そしてマラソンの瀬古、そのほかに多くの期待種目があります。特にマラソンの、四二・一九

⑨ 広報よこしば

ソン日本に大いに期待します。スポーツには、勝つことによつて目的が達せられる競技と、一

ロス五輪と軽スポーツ  
 体育指導員 鈴木孝男 (牛熊)

常生活の基礎づくりをめざして、指導員一同、大いに頑張ります。

スポーツがあります。私たち体育指導員は、地域の皆さん方に、日頃の運動不足を少しでも解消していただくために、ストレッチ体操、インディアカ・ミニテニス・なのはな体操、あるいは最近老人の間で大変人気のある、ゲートボールなどの普及に努めています。今年も、海洋センターを中心に各地区におじゃまして、大勢の皆さん方に参加していただき、より健康で、より豊かな日

俳壇



寒禽や南画掛けある障子ぬち  
 成田 様子  
 本裁ちとなりし春着の娘うなじ  
 宇井 芝童  
 ジーパンの友を前後に春着の娘  
 藤代 ゆう  
 名のられて春着乙女のそれと知る

向後 雅子  
 初東風に風揚げの孫干田駆ける  
 鈴木 草庵  
 正月や酔ふても見たし下戸なれど  
 若梅あやめ  
 初東風や嫩先軽き土ほこり  
 鈴木 南知  
 初東風や信号待ちつつ足踏みす  
 海保 きみ  
 娘の春着三面鏡をふさぎをり  
 海保恵保子  
 早々と春着を掛けし小部屋かな

横芝の碑

133

身代わりの祠  
 大杉大明神(下)



「身代わりになって大暴風から里の被害を防いでくださった」という噂を耳にした人々が、破片を寄せ集めたままの大杉明神の祠を眺めてみると、幾つかに割れた亀裂や、わずかに読みとれる「大杉大明神、亨和二壬戌(一八〇二)三月吉日、氏子安全、稲荷山現×天代」などの刻銘にも、言い知れぬ悲壮さと、不思議な神々しさを感じるのです。

それからというものは、二所神社にお詣りする人々は必ずこの大杉明神にもお詣りをするようにな

東風(こち)というと、まず思



東風

るために、いわゆる西高東低の気圧配置となり、冷たい北風や西風が吹きます。その「極東の王者」といわれる大陸の高気圧が弱まってくると、東風が吹く春が来るわけです。さて、二月は受験シーズンだけなわ。「東風吹かば」と詠んだ学問の神様・菅原道真公をまつる天満宮(天神様)は、最後の神頼みをする受験生でにぎわいます。

北清水の大杉明神は石の鳥居を構え、その奥に4m四方の社殿を持つた社で、茨城県安馬野という地に鎮座する、由緒ある神社から分霊勧請したものだそうです。ここでも一月の末に「初大杉」というお祭りが残っていますが、その時は神官を招き、本格的な行事としてとり行うということです。(本稿取材に当り、新島の川野仙藏さん、北清水の斉藤元一さん、その他大勢の方々のご協力とご指導をいただきました)

町文化財審議会委員  
 小沢春光さん寄稿

